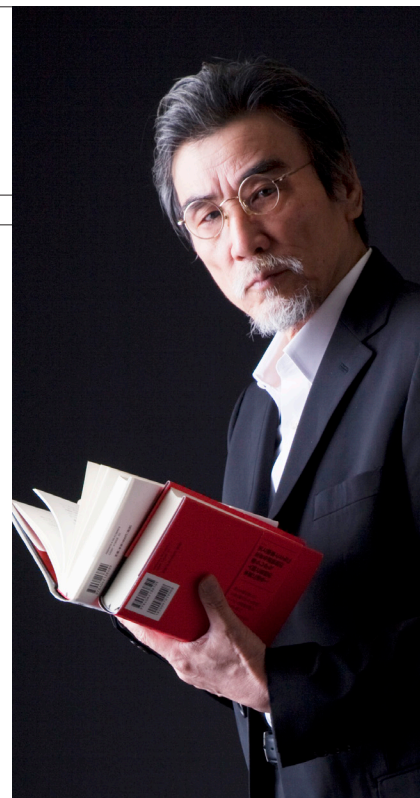


# 松岡正剛

Seigow Matsuoka

編集工学研究所所長  
イシス編集学校校長



1944年京都生まれ。オブジェマガジン「遊」編集長、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授などを経て、現在、編集工学研究所所長、イシス編集学校校長。

生命科学から認知科学まで、日本文化から宗教学まで、デザインから書道文化まで、多分野の研究成果をまたいで関係性をつなぐ「編集工学」を創始、その方法論をメディアづくりやシステム開発、さまざまなプロジェクトの企画や構想に応用し展開。

2000年にネット上で連載をスタートした壮大なブックナビゲーション「千夜千冊」は2017年10月現在、第1650冊を突破 (<http://1000ya.isis.ne.jp/>)。同じく2000年に立ち上げたネット上のラーニングシステム「イシス編集学校」によって、編集術の基本から編集工学の奥義までを幅広い人びとに伝授。

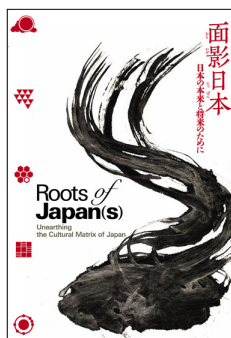
近年は「共読」をテーマに、「本」を媒介にしながら知識情報の相互編集を可能とする「図書街」「目次録」などの構想を推進する一方、編集的世界観にもとづく書棚空間「松丸本舗」「MUJIMUJI BOOKS」「近大アカデミックシアター」などの実験的プロデュースも手掛ける。日本文化研究の第一人者としても定評があり、「日本という方法」を提唱、日本の「方法」の魂を直伝する私塾も精力的に開催している。

## ◆ 著書 Publications ◆

『自然学曼荼羅』『概念工事』『眼の劇場』『存在から存在学へ』『言語物質論』『空海の夢』  
『情報と文化』『遊行の博物学』『背中のない日本』『外は、良寛。』  
『知の編集工学』『知の編集術』『情報の歴史を読む』『日本流』『日本数寄』『山水思想』  
『遊学』『フラジャイル』『ルナティックス』『花鳥風月の科学』『日本という方法』  
『松岡正剛千夜千冊（全7巻）』『17歳のための世界と日本の見方』  
『誰も知らない世界と日本のまちがい』『白川静一漢字の世界観』『連塾 方法日本』（全3巻）  
『多読術』『危ない言葉』『切ない言葉』『リスクな言葉』『アートな言葉』  
『わたしが情報について語るなら』『法然の編集力』『3・11を読む』『松丸本舗主義』  
『にほんとニッポン』『擬一「世」あるいは別様の可能性』ほか



## ◆ 編・共著 Collaborations ◆



『全宇宙誌』『ヴィジュアルコミュニケーション』『遊学の話』『間の本』『間と世界劇場』  
『日本の組織』（全16巻）『アート・ジャパネスク』（全18巻）『解釈の冒険』『経済の生態』  
『情報の歴史』『クラブとサロン』『情報文化問題集』『電縁交響主義』『情報選択の時代』『理解の秘密』  
『生と死の境界線』『色っぽい人々』『二十世紀の忘れもの』『老年発見』『伝統と創生フォーラム集成』  
『ボランティア経済の誕生』『インターネット・ストラテジー』『情報文化の学校』『脳と日本人』  
『プランニング編集術』『物語編集力』『平城遷都1300年記念出版 NARASIA』（全2冊）  
『日本力』『日本のもと 海』『意身伝心』『匠の流儀』『謎床』『日本問答』

## ◆ 構成 Directions ◆

ループル装飾美術館「間」展、筑波博テクノコスモス館、NTT情報文化研究フォーラム  
福岡ダイエーホークスC1、The OPERA Project、平安建都1200年フォーラム  
資生堂ミネルヴァ塾・文化伝承塾、ボランティアエコノミー研究会、織部賞  
テレビ東京「極める」、岡崎市マインドスケープミュージアム、CBCテレビ「ときの探訪」  
京都デジタルアーカイブ「THE MIYAKO」、ISIS編集の国、教育支援ソフト「カプタリウム」  
歴史教育ビデオ「新代表的日本人」「XYZ日本史」、マルチアーカイブビデオ「蘇る空海」  
「ZENetic computer」、松丸本舗、平城遷都1300年記念事業「弥勒プロジェクト」  
経産省「クリエイティブ・ジャパン」、近畿大学「超近大構想」、MUJI BOOKS ほか

